【一太郎 2018 編】

誌面のフチまで図柄がある文書用に「塗り足し」を設定するマル秘テク

印刷所で冊子を印刷、製本するときは通常、仕上がりより少し大きめの用紙に印刷し、サ イズに合わせて周囲を裁ち落としています。誌面のフチまで図柄を入れたい場合、裁断時 にズレが生じても、紙の端に白いフチが出ないように、「塗り足し」と呼ばれるスペース を設けて、実際の誌面サイズより一回り大きいサイズを設定し、図柄をそこまで広げてお く必要があります。

ー太郎 2018 では、美しい文書スタイルを簡単に設定できる「きまるスタイル」で、仕上 がり時のレイアウトを保持したまま、四方に塗り足しスペースを付け加えた用紙サイズが 指定できます。

1	-7	太郎 - [文書1] (1.(E) 編住 東日	- ほぇ		●式 取迫	M_11.	ሰረኤሯስ	017			
		新規作成(<u>N</u>) 開く(<u>O</u>) 閉じる(<u>C</u>)	Ctrl+N Ctrl+O Ctrl+F4	61	■J、 I · 」。· I · 」。·			ງຜູ	🔎 - [
	0	 上書保存(S) 名前を付けて保存(A) 他形式の保存/開く(H) テンプレートを開く(L) 	Ctrl+S Ctrl+2	11	10 20	80	40	50	60	70	8
Q				-							
:=	۲	アウトブットナビ(<u>G</u>)									
:= ⊡ ✓		パックアップ(<u>B</u>)	,	-							
		文書補助(<u>1</u>) シート(<u>E</u>)	;								
	1	文書スタイル(Y))	B	7.841L(V)		Eo				
		印刷プレビュー(<u>V</u>) 印刷(<u>P</u>)	Ctrl+P	L.	きまるスタイル(<u>K</u>)	ŧ					
					上下の行で文字の位置を揃える(<u>A</u>) 簡 簡易用紙変更(<u>P</u>)						
	â	送信(<u>M</u>)		間							
5	2	一太郎の終了(<u>X</u>)	Alt+F4		縦組文書に変換()	て書に変換(1)					
	21-22				ヘッダ・フッタ(<u>H</u>) ヘッダ・フッタ直接料	肩集(<u>E</u>)					
				ø	他文書の書式に含	わせる(<u>R</u>)					

1. [ファイルー文書スタイルーきまるスタイル]を選択します。

2. スタイルを選択したら、[用紙サイズを塗り足し分大きくする] をオンにし、塗り足 しサイズを設定します。ここでは [3mm] に設定しました。[OK] をクリックします。



 \downarrow

塗り足しが設定されます。[ファイルー文書スタイルースタイル]をクリックすると、
 [用紙]が[未定義用紙]となっており、[用紙]をクリックすると、[用紙幅]と[用
 紙長]が、それぞれ 3mm × 2 = 6mm ずつ大きくなっていることが分かります。



 \downarrow

4. 塗り足しが設定された文書です。点線の外側が塗り足し部分となります。この部分まで図柄があれば、周囲に白いフチが出てしまう心配がありません。※画面上の点線は実際には表示されません。

